

議会だより

そでがうら

市議会



袖ヶ浦市マスコットキャラクター「ガウラ」

No.158

平成26年5月1日

発行:千葉県袖ヶ浦市議会

3月定例会

平成26年度過去最大規模予算に

2~3ページ

敬老祝い金を長寿祝い金に改名・制度見直し

4ページ

議決結果・委員会レポート

5~6ページ

13人が市政を問う 一般質問

7~11ページ

議会だよりA4版リニューアル

11ページ

TOPICS 長浦駅南北自由通路・給食センター

12ページ

3月 定例会

3月定例会は、2月20日から3月25日までの34日間の日程で開催され、新年度予算、各会計の補正予算、副市長の人事など全ての案件を可決しました。

一般質問では、13人の議員が、市政全般にわたり市当局の考え方や疑問をただしました。

厳しい財政

平成26年度財政調整基金から

6億2千万円の

預金取崩し
予定

一般会計予算の主な内容

- 受益者負担の適正化
社会体育施設や公民館使用料の一部見直し等
- 扶助費の抑制
障害者福祉サービスの一部見直し等
- 長浦駅及び袖ヶ浦駅舎等整備事業
自由通路及び駅舎橋上化改修を行い、駅周辺地区における都市機能の向上を図り、長浦駅は全面供用開始、袖ヶ浦駅は一部供用の開始を行う。
- 袖ヶ浦駅海側地区の土地区画整理事業
組合への技術支援を行うとともに補助金の交付を行う。
- そでがうらこども館の開設
子育て機能を集約したそでがうらこども館を運営し、家庭や子育てサークル等の支援を行う。
- 新規保育園（社会福祉法人）建設補助
待機児童解消のため、（仮称）神納保育園（社会福祉法人）の建設事業に対し補助を行う。
- 子育て短期支援事業の新規開始
保護者の疾病等の理由で児童を養育することが一時的に困難になった場合等、児童養護施設において養育及び保護を行う。
- 学校給食センターの完成
平成25年度に引き続き、工事を実施し今年度秋に完成予定

収入

合計261億2,000万円

その他

2億7,124万円 1.1%
地方特例交付金、地方交付税など

地方譲与税

3億5,745万円 1.4%
国が徴収した特定の税から分配されるお金

地方消費税交付金

6億5,959万円 2.5%
地方消費税の一部が県から交付されるお金

県支出金

12億4,835万円 4.8%
市の事業に対し県から交付されるお金

国庫支出金

39億3,277万円 15%
市の事業に対し国から交付されるお金

市債

36億8,300万円 14.1%
国や銀行から長期に借入れるお金

依存財源

合計
101億
5,240万円
39%

自主財源

合計
159億
6,760万円
61%

市税

127億9,424万円 49.0%
市民税、固定資産税、市たばこ税など

繰入金 14億849万円 5.4%
財政調整基金などの預金から下ろして使うお金

諸収入 4億6,706万円 1.8%
講座受講料、不燃物売却代、健康診断自己負担分、預金利子、受託事業収入など

繰越金 3億円 1.1%
前年度から繰り越されるお金

使用料及び手数料 4億9,801万円 1.9%
幼稚園等の使用料、住民票等交付手数料、ごみ処理手数料など

分担金及び負担金 4億7,405万円 1.8%
保育料、小中学校給食費等負担金など

財産収入等 2,575万円 0.1%
私有財産貸付収入、基金利子など

*自主財源：市が自主的に収入する財源。*依存財源：国や県から定められた額を収入する財源。

平成26年度 将来を見据えた

一般会計 261億2,000万円
 特別会計 131億2,100万円
 水道事業会計 30億1,800万円

過去最大規模予算

どんな討論がでたの？

賛成



佐久間清議員

厳しい財政状況の下で、持続可能な財政基盤確立のため、様々な取組みを進めながらも、子育て環境の更なる向上を進め、また、袖ヶ浦市の将来の発展のための都市基盤整備や教育関連施設整備などにも積極的に取り組んでおり、限られた財源の中で、市民生活の安心と安定に努めていることがうかがえるので賛成です。

反対



篠崎典之議員

消費税増税の中で、市民の負担を求める要素も含まれています。財政難であり、平成29年度までに58億円の歳入が不足すると言いつつ、開発と関連事業には膨大な費用を投じるものとなっています。暮らし、福祉、教育を最優先とする市政運営をすべきであるので反対です。

特別会計予算

- 国民健康保険 71億9千100万円
 - 後期高齢者医療 4億3千800万円
 - 介護保険 36億8千800万円
 - 農業集落排水事業 4億7千100万円
 - 公共下水道事業 13億3千300万円
 - 水道事業 30億1千800万円
- 右記の5特別会計の総額131億2千100万円
 以上について可決されました。

特別会計とは…

一般会計に対し、特定事業など収入、支出を個別に処理する会計のことです。

支出

合計261億2,000万円

その他 2億7,042万円 1.0%
 積立金、出資金など

貸付金 2億3,248万円 0.9%
 奨学資金貸付金、高齢者等住宅整備資金貸付金、中小企業融資資金貸付金など

維持補修費 1億7,335万円 0.7%
 道路や橋梁、学校、庁舎などの維持補修

補助費等 23億5,281万円 9.0%
 補助金、交付金、負担金など

繰出金 18億2,574万円 7.0%
 介護保険、国民健康保険等特別会計へ一般会計から支出するお金

物件費 45億2,460万円 17.3%
 委託料、需用費など

その他の経費
 合計 93億7,940万円
 36%

義務的経費
 合計 103億905万円
 39%

投資的経費
 合計 64億3,155万円
 25%

人件費 54億4,366万円 20.8%
 職員給与、共済組合負担金、議員報酬等

公債費 10億8,769万円 4.2%
 元金・利子償還金

扶助費 37億7,770万円 14.5%
 生活保護費、児童手当など

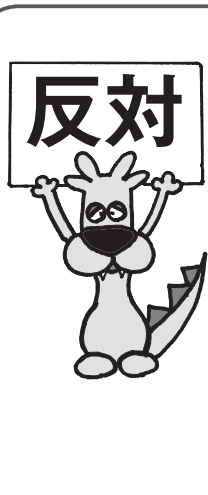
普通建設事業費 64億3,104万円 24.6%
 災害復旧事業費 51万円 0%

*義務的経費：支出が義務付けられ、任意に節減できない経費。*投資的経費：施設など、財産として将来的に残るものにかかる経費。

敬老祝い金を 長寿祝い金に改名 制度見直しも

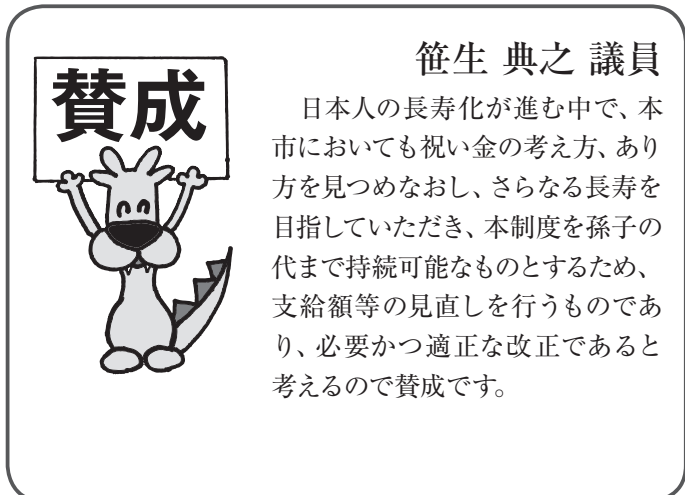
新制度（長寿祝い金）	
77歳（喜寿）	廃止 （前支給額1万円）
88歳（米寿）	2万円
95歳から98歳	廃止 （前支給額3万円）
99歳以上	3万円 （前支給額5万円）

77歳と95歳から98歳の支給を廃止に
高齢化の進展に伴い、敬老祝金の支給対象及び支給額等を見直すことにより、この制度を持続可能なものとするとともに、長寿を祝つたため敬老祝い金を、長寿祝い金と変更するため、条例の一部を変更する議案が賛成多数で可決されました。



篠崎 典之 議員

8%消費税が実施されるだけでなく、高齢者にとっては年金の不当な切下げ、医療費の負担増など、厳しい生活環境となっている中での敬老祝い金（930万円）の削減は、地域経済にマイナスの影響を及ぼします。開発や駅舎の改築などに膨大な税金を注ぎながら、高齢者の楽しみにしている祝い金を削減することには反対です。



笹生 典之 議員

日本人の長寿化が進む中で、本市においても祝い金の考え方、あり方を見つめなおし、さらなる長寿を目指していただき、本制度を孫子の代まで持続可能なものとするため、支給額等の見直しを行うものであり、必要かつ適正な改正であると考えるので賛成です。

副市長 再任



副市長

山口 幹雄氏

副市長山口幹雄氏が平成26年3月26日をもって任期満了となるため、引き続き同氏を選任することについて議会は賛成多数で同意しました。任期は4年です。

市長、副市長、教育長の給与減額（賛成多数で可決）
市長、副市長、教育長の給与の減額を引き続き実施するため条例の一部改正を行う議案が、賛成多数で可決されました。
昨年7月1日から構造改革の取組み実施を理由に、市長は20%、副市長は15%、教育長は13%の給与削減を行ってきました。平成26年度は1年間一律10%の削減率へ変更するという提案でした。
この議案では、次のような討論がありました。
反対意見は、今後の財源不足を理由に市民負担を増やす中、なぜ削減率を下げるのか納得できない。削減率を変えずにそのまま継続実施すべきだという意見でした。また賛成意見は、給与削減は特別職自らが判断したものであり、その内容は適正だという意見でした。

4月臨時会
4/11（金）14時～開催
新しい農業委員に
笹生猛議員と福原孝彦議員
発議案第1号農業委員会委員の推薦については、委員2名が辞任し欠員となっていることから、農業委員会等に関する法律第12条第2号の規定により、笹生猛議員と福原孝彦議員の2名を新たに推薦し、全員賛成で可決されました。
議案第1号及び第2号は専決処分承認を求めることについての審議があり、第1号は袖ヶ浦市条例の一部を改正する条例の制定について、第2号は袖ヶ浦市都市計画条例の一部を改正する条例の制定について、全員賛成で承認されました。他に水道料金の債権放棄についての専決処分の報告がありました。

平成26年3月定例会の議決結果

議案名	議決結果	粕谷智浩	在原直樹	小国勇	笹生典之	緒方妙子	篠原幸一	村田稔	鈴木憲雄	佐久間清	前田美智江	長谷川重義	篠崎龍夫	茂木芳和	肋波久子	佐藤麗子	笹生猛	榎本雅司	阿津文男	田邊恒生	塚本幸子	福原孝彦	篠崎典之	渡辺盛(議長)	
特別職の職員等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
敬老祝金条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
副市長の選任	原案可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長は、地方自治法第116条の規定により、採決に加わりません。
議案名中の『袖ヶ浦市』及び、『～について』は省略表示してあります。

○ = 原案賛成 ● = 原案反対

全会一致で原案可決・同意とした議案

3月定例会では、28議案が提案され、すべての議案が原案可決・同意されました。
そのうち賛否が分かれた議案は上記の8議案でした。

全会一致で原案可決・同意された主な議案

- 子育て中の親子が気軽に集い、親も子供も自由に交流し、育児不安についても保育士が相談に応じる子育て交流の場として、そでがうらこども館(4月1日オープン)を開設するための条例の制定をする議案
- 袖ヶ浦市災害救助基金条例の一部を改正する条例の制定をする議案
- 袖ヶ浦市消防手数料条例の一部を改正する条例の制定をする議案
- 人権擁護委員齊藤哲夫氏が平成26年6月30日をもって任期満了となるため、新たに石井菊女氏を推薦する議案
- 固定資産評価員高山栄作氏が平成26年3月31日をもって任期満了となるため、新たに長谷川美喜男氏を推薦する議案

詳細については、袖ヶ浦市ホームページでご確認いただくか、議会事務局にお問い合わせください。

袖ヶ浦市ホームページ <http://www.city.sodegaura.chiba.jp>
議会事務局 ☎(62) 3450

委員会レポート

議会では、より詳しい審議をするため3つの常任委員会でも審議しています。3月定例会では、議案15議案が各委員会へ付託され、すべて可決されました。(以下、審議内容抜粋)
委員会の様子も傍聴できますので、傍聴の際には事前に議会事務局までお問い合わせください。

袖ヶ浦市議会事務局 (62)3450

総務企画常任委員会

3月4日開催

議案 6件

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

50歳代後半層の職員の給与水準の上昇を抑え、昇給を停止するため条例の一部を改正するものです。

質問 市の人件費率が全国で36番目に高い指数となっているがその理由は。

回答 急激な高度経済成長の時代に、多数採用された職員が現在50歳代となり、給与所得の層が膨らんでいるのが要因です。

質問 対象者は。

回答 部長、次長、課長職の98名です。

質問 10年前と今回の改正後でどのくらいの額の違いがあるのか。

回答 部長職で10年前の給与月額平均が49万9千71円。これに対して引き下げ後が45万9千26円です。

質問 賃金の引き下げが、モチベーションの低下につながるのか。

回答 数年で相当の退職者が出るので、業務を維持するため高齢者層の指導力が重要となります。適材適所、勤務評定等も重視し、勤務に見合った昇給昇格に心がけ、メリハリをつけた人事を検討します。

文教福祉常任委員会

3月5日開催

議案 5件

子育て支援拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定

乳幼児の健やかな育成及び子育て親子の交流を図るとともに、子育て家庭を支援するための施設として「そでがうらこども館」を開設するために条例の制定をするものです。

質問 こども館の休館日設定の考え方は。

回答 日曜・祝日・年末年始は休館とします。休館日は家族と過ごしていただきたいと考えますが、日曜日の開館について多数のニーズがあれば今後検討します。

質問 利用しやすい施設であることをもつとPRしないか。

回答 できるだけ多くの方に利用していただけよう、PRに努めます。

質問 開館時間は午前8時半から午後5時15分であるが、市長が認めるときは変更が可能と条例で記載している。どのような場合を想定しているのか。

回答 館内にファミリーサポートセンター事務所や、3歳以上の児童を対象とした吉野田保育所への送迎ステーションが併設されます。送迎ステーションを利用される方の中には、午後7時までこども館を利用される場合もありますので、このような条例の記載を行いました。

建設経済常任委員会

3月6日開催

議案 4件

水道事業会計資本剰余金の処分

水道局では、水道管を入れる際に、公共下水道や農業集落排水などから敷設工事について一部負担金を受け入れます。平成25年度中の事業において老朽管更新の際に資産である古い水道管を撤去しましたが、撤去される水道管を入れた時に受け入れた負担金も、水道管の除却に合わせて貸借対照表上会計処分されるものです。

質問 この負担金は誰が支払っているものなのか。

回答 公共下水道と農業集落排水については一般会計から負担金として支出しています。また、以前は国庫補助金や県補助金もありました。

質問 400万円の処分ということだがこの積算根拠はあるのか。

回答 算定方法があり、減価償却して残った分を処分額として整理することになります。

13人が市政を問う

一般質問

一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、議員が市に対して質疑を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？



緒方 妙子 議員 (公明党)



・施政方針および平成26年度予算編成について

H26年度予算編成から

Q 公共施設再編整備の状況と予定を伺う。

A 白書を作成し、各施設の管理、維持を整理し、今後の取組みや実施時期を具体化する計画を策定し、取り組めます。

Q 未利用市有地の利用の状況等を伺う。

A 今年度は8物件の売却処分分で約1億1千500万円の収入予定です。今後も売却処分や貸付等を積極的に行っていきま

す。

Q H26年度各施策への取組み

A こども館の今後の展開について伺う。

A 4月の身体測定、お誕生会、おはなし会、栄養士巡回など様々な行事を検討しています。

田邊 恒生 議員 (市民クラブ)



・近隣地区の状況変化に対応した「賑わいと魅力のあるまちづくり」の推進について
・「持続可能な財政構造確立のための集中的取組み」の実効策について

Q 近隣の状況変化に対応したまちづくり推進策

A 袖ヶ浦駅海側地区完成に向けたまちづくり推進策について伺う。

A 現在、50%の進捗で、一部まち開きを10月19日のアクアラインマラソンに合わせて行うよう調整中です。

Q 県事業のJ・Rとの立体

A 交差のある高須箕和田線はH28年度末完成と1年前倒しが県より公表されました。市の負担金は総事業費25億500万円の10%、約2億5千万円となる予定です。

Q 西内河根場線は木更津市と連携して協議を進めており、県が早期に着手を図れるようH26年度に両市が協力して測量・調査を行う予定です。駅前商業施設の誘致は早期立地に向け土地購入者に働

きかけていきます。

Q 地元商業施設の活性化策について伺う。

A 「産業振興ビジョン」を作成し具体的な振興策、活性化策に取り組めます。

さかけていきます。

Q 平成通り沿線の市街化調整区域で、開発しやすい土地利用の推進について伺う。

A 次期都市マスタープランの策定に合わせ検討します。

Q 長浦駅の「みどりの窓口」復活の要望をしないか伺う。

A 全社的なIT化、チケットレス化を推進しており難しいとの回答ですが、引き続き要望していきます。

Q ネーミングライツ (命名権) や雑誌オーナー制度等、又広告以外の収入確保の推進をしないか伺う。

A ネーミングライツ等は課題を考察し、検討を重ねます。広告以外では自動販売機設置料を入札制度にて検討していきます。

Q 国の大型補正予算における本市の活用を伺う。

A 事業の前倒しに取り組み、通常分とは別に交付金、国庫支出金を約4億8千万円確保できる予定です。

Q 収入確保への取組み

在原 直樹 議員

(創袖クラブ)



- ・防犯カメラについて
- ・通学路における、交通安全対策について

防犯カメラの効果

Q 市が管理する防犯カメラの設置台数は。

A 公共施設の管理目的で、全小中学校、公民館、都市公園、長浦

駅南北自由通路など合計121台設置しています。

Q 今後、公共の場所、例えば駅前広場などに設置していかないか。

A 県の補助制度の活用も含め、今後、駅前広場を重点に検討していきます。

Q 防犯カメラの設置基準を条例化していかないか。

A 現時点では、直ちに条例を制定する考えはありませんが、ガイドラインを設ける必要はありますので、今後調査していきます。

通学路の交通安全対策

Q 通学路の危険箇所現在の状況について。

A H24年に市内通学路の一斉点検を行い、

すべて対応済みです。また新たに4箇所を確認し、H25年度中に改善します。

Q 昨年、蔵波小学校で発生した交通死亡事故箇所の改善は。

A 警察と市で現地診断を行い、外側線やセンターラインの引き直し、更に速度を抑制させるため、ドット線を新規に引き改善しました。また、市内全小中学校において交通安全指導を実施しました。

Q この交差点に信号機を設置しないか。

A 木更津警察署が信号機の設置を県警本部に要請しています。

粕谷 智浩 議員

(新風会)



- ・持続可能な財政構造確立のための集中的取組みについて
- ・災害発生時における市の対応について

持続可能な財政構造確立！集中的取組みとは

Q 取組み最終年度でも約4億円の財源不足だが。

A H27年度に今後の財政状況を見極め見直しをしていきます。

Q 受益者負担をお願いするにあたっての根拠の資料や数字を公表する考えがないか伺う。

A 今後見直しを図っていくものに関してはいくもの公表を検討していきます。

Q 料金の見直し後でも原価とかけ離れていることがありうるがこのような場合どうするのか。

A 原則3年ごとの見直しとなっているので現行料金と差がある場合には更に見直しをします。

Q 公共施設で利用率が低い、また趣旨が薄れた施設があるとのこと

だがこの施設か伺う。

A 平川公民館富岡分館、農業センターは稼働率が低い状況です。また、教職員・職員住宅、奈良輪会館をはじめとする地区会館は市が保有する意義が薄れています。

Q 市長はいつからこの財政状況を把握していたのか伺う。

A 議員活動中から財政状況が変化していることは承知していました。市長就任当時からもわかっていました。

Q 厳しい財政状況だが、将来に対しての投資も考えなければならぬが市長はどのようにお考えか伺う。

A H32年度策定の次期総合計画の中で見極めていきます。

Q 本市における水道事業の今後の姿

Q 本市における石綿セメント管や塩化ビニール管改修事業の進捗状況は。

A H25年度末までの進捗状況ですが、石綿セメント管は更新整備率83・2%、塩化ビニール管は54・5%となる予定です。

Q 君津地域水道事業統合、広域化の経緯並びに進捗状況は。

A 構成団体首長会議で協議した結果、昨年10月に覚書の締結に至り、去る2月14日に「君津地域水道事業統合協議会」を設立しました。

Q 本市の人口増の取組み並びに施策は

A 本市は微増ながら人口は増加しているが、その反面減少地域はある

小国 勇 議員

(志清会)



- ・本市における水道事業の今後の姿について
- ・本市の人口増の取組み並びに施策について

か。

A 直近5年間の増減で見ると、中川・富岡地域が284人、平岡地域が42人と減少しています。顕著なのは平岡地区です。

Q 減少地域の人口増の施策は。

A 平岡地区地域活性化対策協議会を立ち上げ検討を進めていきます。

Q 人口減少の要因でもある出生率の低下、未婚、晩婚化の取組みは。

A 次世代育成支援後期行動計画において子育て支援施策の強化、母子事業においては、妊娠中の健診費用の一部助成をしています。また結婚を希望される方の支援として婚活イベントを開催しています。

Q 本市は微増ながら人口は増加しているが、その反面減少地域はある

笹生 典之 議員

(新風会)



・袖ヶ浦市地域防災計画の具体的な取組みについて

袖ヶ浦市地域防災計画の具体的な取組み

Q 急傾斜地崩壊危険箇所周辺の住民への周知は行ったのか。

A 危険区域周辺住民の皆さまには説明会を開催するとともに、標識や標柱を設置し周知を図っています。

Q 避難所における受入れ時の混乱を避けるために、避難者への対応方法については、平時より掲示しておかないか。

A 必要な情報を事前に知らせておくことは非常に重要であり、ご家族の安否確認の方法や避難所の基本的ルールなどを平時より掲示するなど今後前向きに検討していきます。

Q 災害時の学校安全マニュアルを交通安全ボランティアの方々にも配信

するなど、登下校中の災害対策にご協力いただけるよう協議していかないか。

A 各学校を通じて、ボランティアの方々にご協力いただけるかを働きかけていきます。

Q 発災初期は、電話が通じにくく、迅速な情報収集が困難である。そこで情報収集手段にフェイスブックなどを検討しないか。

A フェイスブックやツイッターなどを活用した情報収集は、電話の代替手段として役立つだけでなく、情報の拡散力を活かした情報提供手段としても有効であると考えます。活用について調査研究していきます。

篠崎 典之 議員

(日本共産党袖ヶ浦市議員)



・市長の政治姿勢について
・福祉行政について
・農業施策と農業委員会のあり方等について

財政の見通し

Q 財政難の原因と責任をどう考えるか。

A 景気低迷や少子高齢化等による社会保障関係費増が原因で、時々対応策実行が責任を果たすことと考えます。

Q 地方交付税交付団体になる可能性は。

A 今のところは、ないと考えます。

生活保護は適切に

Q 生活保護相談者に対して「情報提供」だとして特定企業を紹介していた事例が20件あった。職業安定法上問題があるのではないか。

A 相談の中で行っている職業安定法に抵触すると千葉労働局から指摘され、ただちに是正しました。

埋め立て取消しを

Q 農地転用汚職事件の判決が出された。市長は、千葉県に残土埋め立て許可取消しを要請しないか。

A その考えはありませんが、農地転用一時許可取消しなど重大な変更が生じた場合の厳正な対応と事業者への一層の指導監督を県に申し入れました。

Q 下宮田農地転用許可相当決定には問題があり、農業委員会として取消し決議を行わないか。

A 県から許可は有効との回答を得ており、取消しを求める考えはありません。

篠崎 龍夫 議員

(新政会)



・健康づくりの具体化
・不法投棄ゴミ対策

健康づくりの具体策

Q 市は、健康づくりをうたっているが、具体性が見えない。

最近、自治体や民間会社で、持続可能な健康づくり活動を展開している。市内の三井化学では、終業後にウォーキングやフットサルなどをやり、総合的な活動に繋がっている。

宇佐市は、自治会でチューブ体操をやったり、個人では、食事で一口30回以上噛むことや毎日8千歩以上歩くなど各自の目標を決めて行っている。市民ごぞつての健康づくり活動を行わないか。

A 第2次健康プラン21の中で、総合的な持続可能な健康づくり活動を考えています。庁内の「健康づくり部会」など

で調査し、具体的な対応を検討していきます。

不法投棄ゴミ対策

Q 平川公民館からドイツ村近辺の森林を通るウォーキングコースを歩いた。路上には、お菓子の食べガラや瓶が散乱し、山の中に入るとテレビや洗濯機などが投棄されていた。不法投棄ゴミ対策として、今後、どのようにしていくのか。

A パトロールを3日から6日への増強や移動式監視カメラの設置により、不法投棄ゴミは減少しています。また市民の通報で、川へのゴミ投棄者が立件された事例があります。監視カメラの増設と土地所有者の協力を得るなど、さらに強化をしていきます。

勅波 久子 議員 (日本共産党袖ヶ浦市議員)



- ・高齢者福祉施策について
- ・産前産後の支援について
- ・長浦駅・袖ヶ浦駅の改善について

Q 国の責任を放棄する介護保険改定に反対を！

Q 要支援者の訪問、通所介護は保険給付から外し市が実施する地域支援事業に移される。財

A 財源は国で検討中なので注視していきます。実施方法については事業所の他ボランティアやNPOを活用します。

Q サービス提供できるボランティアはどのくらいいるのか。

A 正式に確認しているボランティア団体は多く今後養成発掘します。

Q 産前産後の体調不良

A 時に、家族等の援助が得られない方へ母子の身の回りの世話や育児相談を行い、保護者の子育て

てを支援するヘルパー派遣事業を実施しないか。

A 子育て環境の一層の向上を図るためファミリーサポートセンター

Q 利用しやすいよう無料券を配布しないか。

A 促進のために無料券を出すか検討します。

Q JRに強く要請を！

A みどりの窓口復活を求めているかないか。

A 千葉市から富津市まで窓口が一箇所もないのは袖ヶ浦市だけです。両駅とも継続的に復活を強く訴えていきます。

Q 長浦駅ホームへの階段は長く市民から不評。エスカレーター設置

A 設計の段階でJRから断られました。今後話していきます。

鈴木 憲雄 議員 (新風会)



- ・依存財源(国庫及び県支出金)の活用について
- ・袖ヶ浦市景観計画について

Q 厳しい財政状況が続く中、依存財源に対する本市のスタンスを伺う。

A 依存財源を積極的に活用することで、一般財源の持ち出しを減らす取組みが重要であると認識し、情報収集、補助制度の活用を努めています。

Q 袖ヶ浦駅海側土地地区画整理事業地区の景観づくりへの対応は。

A 歩車道を分離して植栽による緑化を図るほか、歩道については舗装をカラー平板とするなど景観に配慮しています。公園は6箇所を配置し、緑化とともに歩道等でネットワーク化し良好なま

ち並み景観を計画しています。又、建物については、地区計画の運用により取り組んでいきます。

Q 袖ヶ浦駅海側土地地区画整理事業地区を横断する奈良輪第一雨水幹線の景観としての取組みを伺う。

A 雨水幹線は流域内の雨水を安全確実に排水することを目的として整備していますので、水辺や桜並木などの景観形成は困難となります。しかし雨水幹線沿いには公園や歩行者専用道路が配置されていますので、これらの施設と連携して植栽やカラー平板により良好な景観の創出に努めていきます。

篠原 幸一 議員 (新風会)



- ・市内中心市街地の魅力あるまちづくりを
- ・特色ある施策「袖ヶ浦らしさ」について

Q 長浦、袖ヶ浦駅舎の完成を見据えてどのようなまちづくりに取り組むのか伺う。

A 駅前市街地の利便性と快適性を高め、暮らしやすい都市の実現を目指し、健全でにぎわいのあるまちづくりを目指します。

Q 産業振興ビジョンの策定内容について。

A 農業では、担い手の確保と育成、工業では、臨海部の競争力強化や企業誘致、商業では、各商店の魅力向上、観光業では、魅力ある観光資源の発掘に取り組めます。

Q 横田駅や東横田駅周辺の整備計画や市街化区域の見直しについて。

A 市道三箇横田線の改良工事に着手し、市

街化区域については、都市計画マスタープラン見直し時に可能性を検討します。

Q 地域活性化に取組むリーダーづくりに向けた新たな仕組みを作らないか伺う。

A 新たな仕組みづくりについては、専門家の確保等課題があるので、国の支援制度の有効活用を図ります。

Q 持続可能な財政構造確立のための集中的な取組みをしていく中で、袖ヶ浦らしさをどのように維持するのか伺う。

A 社会経済情勢の変化を見据え、時代にそぐわないものは見直し、新たなニーズには的確に応えることで袖ヶ浦らしさを維持します。



阿津 文男 議員 (市民クラブ)

・ 施政方針について
・ ごみの諸問題について

施政方針について問う

Q 消防指令センターの共同運用の成果は。

A 指令系統が一本化された結果、消防本部相互の応援出動に要する時間が大きく短縮されました。

Q すこやかに暮らせるふれあいと支えあいのまちづくり施策は。

A 第2期地域福祉計画を策定し、ながうら健康福祉支援室を検証する中で、平川地区への新たな開所に向け準備していきます。

Q ながうら健康福祉支援室の成果は。

A 本庁でしか受けられなかった保険・福祉サービスが身近な地域で受けられ、良いとの評価をいただいています。

ごみの諸問題について問う

Q 粗大ごみの有料化の状況と課題は。

A 有料化実施以降は搬入量が大きく減少し、当初懸念していましたが、ごみ集積場所への不適正搬出もあまり見受けられず、順調なスタートを切ることができました。

Q 不法投棄の防止対策は。

A 職員による週6日の監視パトロール及び監視員によるパトロールを実施し、状況によっては監視カメラの設置を行うなどの対策を実施しています。



福原 孝彦 議員 (市民クラブ)

・ 施政方針について

平川地区のまちづくり

Q 将来の発展を見据えたまちづくりについて具体的に伺う。

A 将来に向けた積極的な対応が必要な時期と考えています。長浦駅舎の供用開始、袖ヶ浦の一部供用開始、袖ヶ浦駅海側地区のまち開きを予定しています。

Q 平川地区が取り残されている印象が強い、農業と観光を結び付けるものがあるのか。

A 産業振興ビジョンの中で検討し、位置づけられます。
*グライナガルテン方式を計画しないか。引き続き研究していきます。

Q 横田駅周辺及び平川行政センター周辺の将来計画、整備計画は。

※グライナガルテン：滞在型市民農園

A 市道三箇横田線の整備にH26年度から着手します。

Q 持続可能な財政構造への転換について具体的に伺う。

A 財政構造確立のための集中的取組みを着実に実行します。

Q 公共施設の再編整備のなかで、幽谷分校は当面小規模特認校制度が導入されたが平岡小は10年で88人減っている、野里地区を住宅地にする方策は。

A 人口減少や高齢化に伴い市街化調整区域においても開発を誘導し次期マスタープランの土地利用方針で検討します。

議会だより リニューアル

みなさんのご意見をお寄せください。
sode32@city.sodegaura.chiba.jp

5月1日号から議会だよりをA4版に変更し、また、内容についても議会改革のひとつとし、開かれた議会をめざしリニューアルしました。今後も市民のみなさんが親しみやすく読みやすい広報づくりに努めていきます。

A4版へ変更にあたり、以下の点を見直して、議会だよりの作成経費削減に努めました。

- ◆ 本文を2色刷りから1色刷りへ
- ◆ 綴り用の穴開けを穴無しに
- ◆ 紙質の見直し



トピックス

TOPICS



長浦駅南北自由通路開通

平成24年度より整備を進めてきた長浦駅南北自由通路と新駅舎が一部供用開始されました。改札出口正面には市政情報モニターが設置され、県道上空部分の自由通路東面には多目的展示スペースが設置されています。また、2月22日をもってみどりの窓口が営業を終了することについて、袖ヶ浦市議会では、2月21日にJR東日本千葉支社長に対し、「みどりの窓口」存続を求める要望書を提出しました。

学校給食センター建設中

平成24年度から工事着手している新しい学校給食センターの建設事業は、建築工事や関連する設備工事が順調に進められています。本施設は、安心安全な学校給食の提供と、給食を活用した食育や地産地消を推進することとして、整備に取り組んでいるもので、平成26年秋の稼働を目指しています。



表紙の写真

4月1日に子育て交流の場「そでがうらこども館」がオープンしました。お子さんと一緒に遊びに来てください。育児の不安が少しでも軽くなるように、自由にみんなとお話したり、遊んだり、子育ての悩みを保育士さんに相談できる場所です。



議会広報特別委員会
委員長 篠崎 久夫
副委員長 篠原 久子
委員 緒方 直樹
小国 勇
在波 樹
佐原 幸一
阿津間 文男

6月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4 本会議 10:00~	5	6	7
8	9	10 本会議 (一般質問) 9:30~	11 本会議 (一般質問) 9:30~	12 本会議 (一般質問) 9:30~	13 本会議 (一般質問 予備日)	14
15	16	17 総務企画 常任委員会	18 文教福祉 常任委員会	19 建設経済 常任委員会	20	21
22	23 本会議 10:00~	24	25	26	27	28
29	30					

*一般質問通告一覧表は5月30日頃、ホームページに掲載する予定です。
*6月定例会の予定は、5月28日(水)に開催予定の議会運営委員会で正式決定されます。詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

発行/袖ヶ浦市議会 編集/議会広報特別委員会

〒299-0292 千葉県袖ヶ浦市坂戸市場1-1

TEL0438 (62) 3450 (直通)

袖ヶ浦市ホームページ <http://www.city.sodegaura.chiba.jp>

袖ヶ浦市議会

検索